

普通の劇場よりも明るい場内になります、音も小さめになります。

立ち歩きOK！出入り自由。寝転がつてみてももらつてもOKとします

字幕付き『フレンドリー上映会』

小さい声のおしゃべりOKとしますのでご理解ください

2025年

11/
29

土



映画のHP
QRコード

文部科学省特別選定

①午前 10時～

②午後 2時～

③午後 6時～

映画(106分)を観たあと
で気楽な意見交換の時間
を設けます

場所: 弥富市総合福祉センター 2階 研修室(カーペット敷の平場)

弥富市鯉浦町上本田95-1

参加者: だれでも(不安のある方はHPからご相談ください)

参加協力費(実費): 400円(18歳未満等不要です)

申し込み: 不要

主催: 新しい風やとみ

事前申込: 可能な方はHPから事前予約をお願いします



詳しくはHPでもご覧ください QRコード

知ってほしい、『みんなの学校』のひみつ

見えてくる、わたしたちの未来



ドキュメンタリー映画って、作り話よりよっぽどドラマがあると思わない？ 今回は、**ある小学校の日常を映したもの**だけど、すごくドラマチックなんだって。

うん、僕もそう思う。学校の先生や子どもたちのことって、自分の経験や、せいぜいごく一部しか知らないからね。ドキュメンタリーを見ると、知らなかつた学校の現場や、子どもたちの本当の姿が見えてくるんじゃないかな。



そうなんだよね。『**知っているつもり**でいたことが、**実は全然知らなかつた**』と気づかされる。この映画は、私たち大人だけでなく、子どもを通わせている親や、おじいちゃん、おばあちゃんにまで見てほしいんだ。



この映画が教えてくれるのは、『**みんな違っていい**』ということなんだ。性別も、国籍も、個性も、一人ひとりの違いを認め合う社会。それが幸せの条件だと。



確かに、今の社会は画一的で、みんなが同じでなければ幸せになれないと思われがちだ。でも、本当は違う。一人ひとりの違いが尊重され、みんなが幸せになれる社会を、**私たち自身がつくっていかなければいけない**よね。



そう、この映画は教育の話だけじゃない。子どもたちが自ら学び、子ども同士が関係を築いていく。そんな本来の人間らしい可能性や幸せを見せてくれる。そして、それは学校の中だけでなく、**地域全体で実現できること**なんだと思う。



なるほど。この映画は、私たち自身の問題なんだね。



そう。この映画は、あなた自身が、自分の家族や、関わっている社会が「みんな違っていい」ということを、言葉ではなく実感するための入り口だ。映画を見た後、あなたがどう行動するか。それは、私たちにはどうこう言えることではない。でも、見てほしい。**見なければ何も始まらない**から。



見ればきっと、幸せな気分になる。幸せを確かなものにするかどうかは、**私たち一人ひとりの行動にかかっている**と気づくんじゃないかな。

この映画を観て、私たち自身について、考えてみましょう。